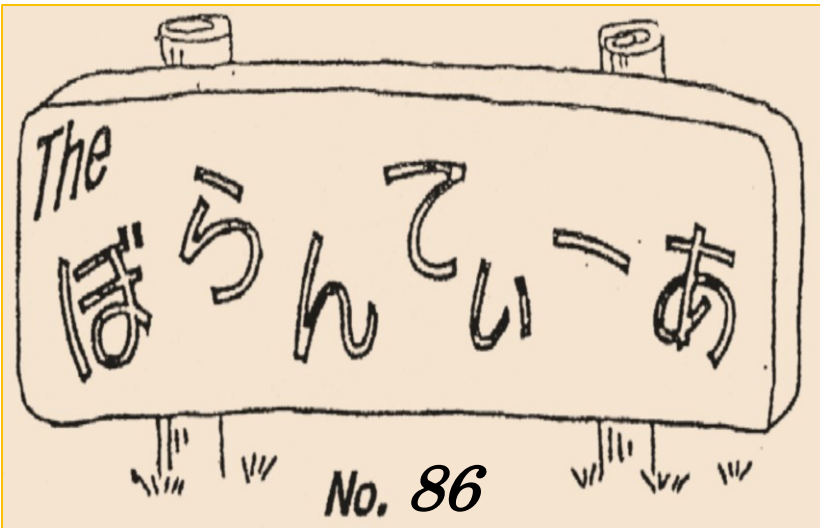




発行/鈴鹿市ボランティア連絡協議会
〒513-0801 鈴鹿市神戸地子町 383-1
TEL059-382-5971 FAX059-382-7330

企画・編集/The ぼらんていーあ編集部

目次

- ◇ボラティア活動の取組・他写真・動画
- ◇紹介誌修正・完成挨拶・防災コラム
- ◇研修・広報・防災部会報告
- ◇活動報告・「集い」・編集後記

★ ボランティア活動の取組

鈴鹿市ボランティア連絡協議会会長 戸口孔二

日頃は、「鈴鹿市ボランティア連絡協議会」の活動にご理解とご支援を頂き、ありがとうございます。

現在は、団体が丁度 100 と個人が 161 人登録してボランティア活動を行っています。

令和 5 年は、新型コロナウイルスも 4 年目を迎え、私達の活動も感染対策を行いながら徐々に従来の活動に戻りつつあります。1 月 30 日には神戸龍光寺の元住職：衣斐弘行講師に依頼して「ボランティアのこころ」で研修会を開催させて頂きました。

また、令和 4 年度は役員改選の新体制で以下 4 件の取り組みを行わせて頂きました。

1. コロナ禍の会議の在り方としてWEB会議や効率的な進め方の改善を行っています。会議は事業を進めるために以下の 4 種類があります。

①専門部会 ②役員会 ③運営委員会 ④その他関係会議の参加

2. 「団体紹介誌」の作成

令和 3 年度に着手した「団体紹介誌」が令和 4 年 11 月に完成しました。鈴鹿のボラ連登録の仲間がどのような取り組みをしているかが分かると共に、ボランティアの仲間づくりに繋げて行きたいと思ひます。ボランティア活動の活発化に向けてご活用ください。

3. 「第 28 回ボランティアの集い」の開催

ボランティアの交流や研修を目的に開催してきた「ボランティアの集い」3 年ぶりに皆さんのご協力を頂き開催させて頂きました。ご協力を頂き大変ありがとうございました。

4. 令和 5 年は、「情報バンク」の立上げを進めています。

私達ボランティアの日頃の取組みを活かして「南海トラフ地震」など災害時や平常時に日頃の取組で福祉活動や被災者に支援できる仕組みを考えています。実施に向けて多くの課題があると思いますが皆さんのご協力を頂き進めて行きたいと思っています。

鈴鹿市ボランティア団体
紹介誌



動画・音楽
コーナー

鈴鹿市ボランティ
の集い

介護アロマ三重サークル鈴鹿

トルコ・シリア
大地震救援金

救援募金 (14,610 円)

ウミガメネット
ワーク三重



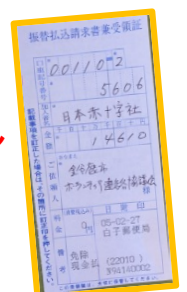
尺八



白百合



白子マジック
サークル



☆ 鈴鹿市ボランティア団体紹介誌の修正

No	ページ	団体名	訂正箇所	誤	正
7	11	ドリーム	開催場所	鈴鹿市社会福祉センター	労働福祉会館
9	12	SS ピンポンみつばち	設立年月日	1991 年 5 月 11 日	2021 年 5 月 11 日
32	23	たんぽぽハーモニー	募集	なし	あり
38	26	ウミガメネットワーク三重	設立年月日	1962 年 5 月 11 日	2014 年 1 月 15 日
53	35	おもちゃ図書館「りりん」	会費 開催場所 日程 募集		会費無し、場所：鈴鹿市第1療育センター 日程：毎年3月下旬反省会(その他不定期) 募集：随時募集
56	36	読みきかせボランティア	設立年月日	1962 年 5 月 11 日	2005 年 7 月

注) その他の修正は 鈴鹿市社会福祉協議会配信の団体紹介誌 WEB 版に掲載します。

☆ 松阪市社会福祉協議会（嬉野支部）に 鈴鹿市ボランティア団体紹介誌をお届けしました

3 年前交流会の松阪市社会福祉協議会：嬉野支部に担当の中西氏を訪ね、その折記念に頂いた「登録グループ紹介誌」を参考にして、鈴鹿市ボランティア連絡協議会が団体紹介誌を作成した事で、お礼と今回の紹介誌をお届けしました。

当時お世話になった、折り紙ボランティアと給食ボランティアグループは退会とのことでしたが、新規登録グループはご活躍とのことでした。（広報部会 高本英人記）



86-1-表右.docx
86-2-裏左.docx
86-1-表右.docx
86-2-裏左.docx

防災コラムシリーズ第7回

地震

その時10のポイント

地震だ！ まず身の安全

- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。
- 【高層階（概ね10階以上）での注意点】
- ・高層階では、揺れが数分続くことがある。
- ・大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

地震直後の行動

落ちついて 火の元確認 初期消火
 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
 ・出火した時は、落ちついて消火する。

あわてた行動 けがのもと
 ・室内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
 ・瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

窓や戸を開け 出口を確保
 揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。

門や塀には 近寄らない
 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。

地震後の行動

火災や津波 確かな避難
 ・地域に大規模な火災の危険がせまら、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所へ避難する。
 ・沿岸部では、大きな揺れを感じたら、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。

正しい情報 確かな行動
 ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否
 わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。

協力し合って 救出・救護
 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。

避難の前に 安全確認電気・ガス
 避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。